

撮影／橋本 清一郎

「金子鷗亭書体字典」の発刊によせて

金 子 鷗 亭

このたび荒金大琳君が、「金子鷗亭書体字典」を発刊してくれました。

その一つは、行書の分類を二つにしている点です。楷書を速く書いた行書だけでなく、隸書を速く書いた行書表現（木簡等）を隸書のところに表記している事です。これを大琳君は非正書体として提示していますが、このグループの文字群から私は近代詩文書作品作成における漢字と仮名の調和に務めたその苦労の跡をなつかしく見ることができます。

もう一つは、私の臨書作品と創作作品の両方の一文字一文字に揮毫の年代表記が加えられ、時には文字の造型別に、揮毫年代別に並べられ、私の歩みをじっくり見ることが出来ます。

この書体字典の作業中、幾度か原稿を見せてもらいましたが、これ程の量の文字をよくこれまで書いたものだと他人事のように驚いています。それは師比田井天来の書学の理念である臨書の重要性を受け継ぎ、創作と同時に数多くの臨書作品を事あるごとに発表することが出来たからであります。大琳君が持参した私の揮毫文字はここに示したもののは数倍もあり、実に気の遠くなるような作業の積み重ねの上に出来あがつたこの書体字典を見る時、この大変な仕事を毎日続けてこられた大琳君に敬意を表します。

近代詩文書を学ぶ人は漢字の造型は勿論のこと、しつかりと、平仮名を学んでほしい。漢字は書けても平仮名で失敗してしまう人が多く、この本は近代詩文書や調和体を志す人の座右の銘になると思います。是非一読の上、創作表現の役に立てて下されば幸甚です。

六部三畫安(あ)

平仮名

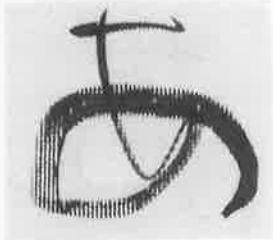
山部
三畫
安(あ)



S56 川端文学燐文集



S56 川端文学燐文集



S56 川端文学燐文集



S56



S56



S56



S56



S56 川端文学



S56 川端文学



S56 川端文学燐文集



S56 川端文学



S56 川端文学



S56 川端文学燐文集



S56 川端文学燐文集



S56 川端文学燐文集



S56 川端文学



S56 川端文学燐文集



S56 川端文学燐文集



S56 川端文学燐文集



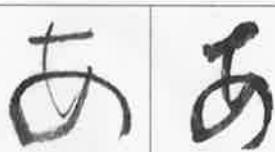
S56 川端文学燐文集



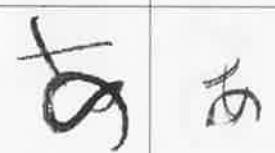
S56 川端文学燐文集



S56 川端文学燐文集



S56 川端文学



S56 川端文学



S56 川端文学燐文集



S56 川端文学燐文集

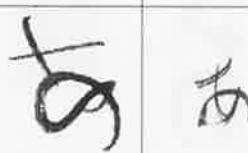
平
仮
名



S56 川端文学



S56 川端文学



S56 川端文学



S56 川端文学燐文集



S56 川端文学燐文集



愚

雁塔聖教序



S49

愚
(おろか)

- 才智がない
- 自己の謙称
- 自己に関する事
- 物に添える謙称



S39

心
部
九
畫
愛



S62

愛

愛



S41



H6 祭姫稿



S45

愛
(いあ
とい
しい)

- あわれむ
- したしむ
- こいする
- 仁恵の人

心
部
九
畫
意



S41

愛

H6



S45



S45

(愛)
草
篆書・隸書・楷書・行書

S56 川端文学燐文集



S56 川端文学



S56 川端文学燐文集



S57



宣示表

愛

S55 東大寺 1



S55 東大寺 2

愛 愚 意

心
部
九
畫
愛あ
H 6あ
S62あ
H 6あ
H 6あ
H 6あ
H 6あ
H 6あ
H 3あ
H 3愛
し愛
し愛
し

S39

愛

撰者藏

愛

仿古堂藏

愛
恋の年

S58

愛

S56 川端文学燐文集

愛

S58 作品の一部に同

愛

S45

愛

S46



S53年10月15日／ソルボンヌ大学礼拝堂にて、パリ日本人学校の依頼にて筆頭揮毫。